



考慮すべき点



- (注)
- このドキュメントで詳しく説明されているサーバー構成でスケールテストを実行します。このドキュメントで指定されている技術パラメータ要件を満たすサーバーを展開する必要があります。このドキュメントで説明されている仕様と技術的に同等のサードパーティベンダーのサーバーを使用することを選択できます。ただし、サードパーティのサーバーはシスコによって認定されていません。問題が発生した場合、Cisco TAC はトリアージを行うことができますが、シスコはサードパーティベンダーに属するハードウェアに起因する問題について責任を負いません。
 - パフォーマンス係数は、ネットワークの設計と設定によって異なります。設計に関する質問については、シスコアカウントチームにお問い合わせください。
 - Cisco Catalyst SD-WAN は、次の Elastic Block Store (EBS) ボリュームタイプをサポートしています。
 - 汎用 SSD (gp2)
 - Amazon Web Services (AWS) による EBS ボリュームタイプ (gp3)
 - EBS ボリュームタイプの IOPS (入出力操作毎秒) は、通常、クラウドプロバイダーによって決定されます。Cisco Catalyst SD-WAN 展開のパフォーマンス要件に合わせて、適切な EBS ボリュームタイプを選択することをお勧めします。

Cisco Catalyst SD-WAN Manager 1 つのテナント

- Cisco SD-WAN Manager を実行するために選択したシステムは、上記のパフォーマンス結果に一致するストレージスループット要件を満たす必要があります。
- アプリケーションの冗長性がソリューションに組み込まれているため、最高のパフォーマンスを得るには Raid 0 を使用することをお勧めします。
- vCPU から pCPU (物理 CPU) への 2:1 のオーバーサブスクリプションは、オーバーレイのデバイス数が 250 未満の場合、Cisco SD-WAN Manager でサポートできます。

- vCPU から pCPU（物理 CPU） への 2:1 のオーバーサブスクリプションは、上記のすべての展開で Cisco SD-WAN コントローラ および Cisco SD-WAN Validator でサポートされています。
- 本番環境には 10 Gbps インターフェイスを使用することをお勧めします。
- 3 ノードおよび 6 ノードクラスタの場合、3 つのネットワーク インターフェイスを使用することをお勧めします。1 つはトンネル用、1 つは管理用、もう 1 つは Cisco SD-WAN Manager クラスタ通信用です。
- 単一サーバーでの Cisco SD-WAN Manager インスタンスの共同ホスティングはサポートされていません。ただし、Cisco SD-WAN Manager は、同じサーバー上の Cisco SD-WAN コントローラ および Cisco SD-WAN Validator インスタンスと共同ホスティングが可能です。
- SAIE が有効の場合：
 - 1 日あたり 50 GB を超えて 100 GB までの場合、構成には 3 ノードクラスタが必要です。1 日あたり 100 GB を超える場合は、6 ノードクラスタを構成します（すべてのサイズは 1 日あたりのサイズです）。
- SAIE が無効の場合：
 - ネットワークの感度と展開の種類に応じて、クラスタ内の高可用性を構成する場合は、3 つの Cisco SD-WAN Manager インスタンスのクラスタを使用することをお勧めします。



- (注)
- 暗号化されたハードドライブの使用は、ソフトウェアのパフォーマンスに影響を与える可能性があるため、Cisco Catalyst SD-WAN のオンプレミス展開ではサポートされていません。
 - Cisco vManage リリース 20.9.1 以降、「DPI」と「集約 DPI」はそれぞれ「SAIE」と「集約 SAIE」と呼ばれます。
 - Cisco vManage リリース 20.6.1 から、Cisco SD-WAN Manager で **[Administration]** > **[Settings]** > **[Statistics Setting]** を選択して、集約 DPI 統計収集を無効にすることができます。[Edit] をクリックします。スクロールして集約 DPI を見つけ、[Disable All] を選択します。
 - DPI 統計収集を無効にするには、Cisco SD-WAN Manager で **[Administration]** > **[Settings]** > **[Statistics Setting]** を選択します。[Edit] をクリックします。スクロールして DPI を見つけ、[Disable All] を選択します。

Cisco Catalyst SD-WAN Validator 1 つのテナント

- OS ボリュームはソリッドステートドライブ（SSD）上にある必要があります。

- サポートされる DTLS セッションの最大数は、Cisco SD-WAN Validatorごとに 4000 です。

Cisco Catalyst SD-WAN コントローラ 1 つのテナント

- OS ボリュームはソリッドステートドライブ (SSD) 上にある必要があります。

遅延要件の詳細については、『[Cisco SD-WAN Manager Cluster Creation and Troubleshooting White Paper](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。